

平成21年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	特殊ペプチド創薬
研究代表者	菅 裕明
審査の所見	<p>人工リボザイムによる試験管内翻訳系を応用する独自のペプチド合成系を応募者が世界に先がけて開発し、様々な非天然アミノ酸を含む特殊ペプチドの合成に成功して、国際的に高い評価を受けている。提案された課題は、応募者の自由度の高い合成法を用いて、特殊ペプチドのライブラリーをランダムに作り、その中に生理活性を持つペプチドを見つけて同定、化学合成し、創薬に応用しようとするものであり、独創性が高く、基礎・応用の両面から重要な課題である。特に創薬のためのライブラリー構築に有効な手法であり、更なる発展が期待できる。以上により、特別推進研究として採択すべきと判断した。</p>